

# 環境学習実施報告書

---

<白石町立 福富小学校 4年生 33名>

一般社団法人 佐賀県産業資源循環協会青年部

## 実施概要

- 日 時 : 令和2年8月27日(木) 8:00～12:30  
9:35～ 座学  
10:40～ 体験学習  
11:30～ 約束の木
- 場 所 : 白石町立福富小学校(佐賀県杵島郡白石町大字福富3410)
- 参 加 者 : 青年部 12名(10社)
- 使 用 車 輛 : 全3台 2tパッカー車(坂井商店)  
7tクラム車(サキンエコリサイクル)  
13tウイング車(イワフチ)
- 取 材 関 係 : サガテレビ、佐賀新聞、建設新聞、ケーブルテレビ



～はじめに～

我々、産業資源循環協会青年部(以下、青年部とする。)は「CSR2プロジェクト」の一環として、毎年、不法投棄撤去のボランティア活動を行っているが、不法投棄そのものの撲滅を目指し、平成26年度から佐賀県内の小学校に出向き児童に対して、環境学習を実施している。

環境学習の内容は、【佐賀県の廃棄物の現状】、【不法投棄(ごみのポイ捨て含む)による環境への影響】、【リサイクル促進】、【使用車輛の危険性】等を現場からの声を含め学習する事により、不法投棄を撲滅することを狙いとしている。

今年、平成30年に実施した白石町不法投棄撤去ボランティアで尽力頂いた白石町議会議員の重富邦夫様よりご紹介頂く。コロナ禍という事もあり開催自体危ぶまれたが、福富小学校が外部との接触に重きを置いている事と、青年部より提示したコロナ感染対策案を執る事で開催可能と判断頂き、無事開催する事ができた。

## ～環境学習の内容～

### ①座学

座学学習は、パワーポイントを用いて授業を行った。講師を永ノ間氏、補助を釜崎氏がいき、児童が飽きないようにクイズ形式を盛り込み終始考えさせながら進行を行った。今回諸事情により、2日前に講師として決定した永ノ間氏の練習不足が心配されたが、児童たちの前では聞き取りやすい音程や速度を心掛け、児童たちに助けられながら無事座学を終えることができた。コロナ感染対策として、教室内ではフェイスシールドやマスク、入室する青年部員を限定する等の対策を実施した。



～授業風景～



### ②体験学習

体験学習は、中庭にて3ブースを作り33名を3つに分け1ブースずつ回することで、時間の短縮や混雑をさげ、説明が聞こえやすい状況作りを行った。

#### ◆2tパッカー車(坂井商店)

ゴミの分別で入れてはいけない物などを知ってもらう事や、ごみの減量の大切さを学習。ごみの収集に使用する車両への投入体験を行い、どういう風にゴミが回収されるのか、また身近に見かける作業車の危険性についても同時に学習。



～危険箇所の説明・投入体験～



◆7tクラム車(サキンエコリサイクル)

自動車のリサイクルについて学習。各自動車部品がどうリサイクルされ何にリサイクルされるか説明を実施。又、廃タイヤを使用しクラム車の稼働説明や接近の危険性等を説明。

～自動車リサイクル説明～



～車両紹介～

◆ウイング車(イワフチ)

段ボール・新聞・雑誌・缶・ペットボトルのプレス品を使い、生活の中で排出されるリサイクル出来る物やリサイクル後の製品について説明を実施。またプレス品の重量当てクイズやペットボトル成型前のサンプルに触れて体験。

～資源物説明～



③約束の木

今回の環境学習を受けて、児童たちが今後約束出来ることを考え葉っぱに記入し、木に張り付ける事で1本の約束の木を作成。また代表者を選出し、他児童の前で約束出来る事を発表してもらった。児童からは色々な約束出来る事が発表され、大人でも思いつかない様な約束出来る事も発表され、青年部を驚かせ大きな約束の木が完成した。



令和2年度 環境学習参加者一覧

NO.	会社名	氏名	
1	佐賀衛研(株)	清瀬 康貴	
2	(株)西村商会	青木 大作	体験講師
3	(財)佐賀県環境科学検査協会	永ノ間 俊輔	座学講師
4	(有)坂井商店	坂井 賢一郎	体験講師
5	(株)イワフチ	石橋 宏晋	
6	(株)イワフチ	山崎 敏郎	車両操作
7	(有)寺崎資材工業	寺崎 森	
8	(財)佐賀県環境クリーン財団	牧浦 達也	
9	佐賀環境整備(株)	石橋 建三郎	
10	(株)三協環境開発	釜崎 智徳	
11	サキンエコリサイクル(株)	河原林 京平	体験講師
12	サキンエコリサイクル(株)	本松 清人	車両操作
	10社	12名	